

古事記1300年紀

古事記のふるさと田原本

古事記1300年紀を振り返る



▲太安万侶像 (小川瞳画/多神社所蔵)

昨年は、「古事記」が太安万侶によって編纂されて1300年という記念の年でした。これを記念して奈良県内や全国の古事記ゆかりの地で数々のイベントが開催されました。

古事記1300年紀催し案内 (2月)
 第5回記紀・万葉歴史講座
 日時 2月16日(土)午後2時～
 場所 町民ホール(町役場西側)
 演題 「古事記と万葉歌」
 講師 井上さやか(県立万葉文化館主任研究員)
 定員 150人(事前申込不要)
 参加費 200円(資料代)
 問 町観光協会 ☎ 33-4560

古事記献上祭
 日時 2月28日(木)午前10時～祭事
 場所 小杜神社(多神社内)

そして太安万侶のふるさと田原本町では、「古事記1300年紀事業実行委員会」(委員長・鈴木幸兵田原本町観光協会会長)が組織され、古事記1300年紀記念フォーラムや古事記の里ウォーク&イベント、「やすまろさんへのメッセージ」コンテスト、記紀・万葉歴史講座、古事記写真展などが開催されて、町内外から多くの人たちが参加していただきました。また、太安万侶を祭る多神社・小杜神社では、古事記献上祭、太安万侶祭など太安万侶と古事記にまつわる祭事が執り行われました。このような催しを通じて、古事記と太安万侶の世界を、私たちの身近な事柄として実感していただけた



イメージ：奈良県ホームページ「記紀・万葉でたどる奈良」より

のではないかと思っています。これからも「日本書紀」が編纂されて1300年となる平成32年を長期的視点でとらえ、奈良県の「記紀・万葉プロジェクト」と連携し、田原本町の歴史的魅力の再発見を積極的に全国へ発信するとともに、「やまとのまほろば田原本」の豊かな歴史と文化を町の誇りに、地域の活性化につなげていきます。

町観光協会事務局

今月の表紙

一面雪景色。普段と違う景色を楽しむ



1月14日、急速に発達した低気圧の影響で、町内では午前10時ごろから、降っていた雨が雪に変わりました。あっという間に雪が降り積もり、辺り一面に白銀の世界が広がりました。

写真は、町役場東側の歩道を歩く子どもたち。降りしきる雪の中、普段と違う風景を楽しみながら、会話を弾ませていました。

編集後記

■今月号の成人式特集は、私が初めて担当を受け持った特集になります。どんな特集にするのか、紙面の構成はどうするかなど、考えなければならないことは多く、大変苦労しました。しかし、自分の力でなにかを作るといのはとてもやりがいがあり、充実した仕事ことができました。この経験を生かし、次に繋げられるよう努力していきます。 昂

■昨年発表された「平成23年全国一級河川水質調査」で、水質が再びワースト3位に転落した大和川。水質改善を促す記事の編集集中に、平成24年大和川水質調査の結果が県から公表されました。その数値は昨年より改善されています。7ページに、家庭でできる工夫や清掃イベントを掲載していますので、みんなで取り組んでいきましょう。 永